



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ  
 コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹田 光広  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	104,759	8.7	9,804	2.4	9,837	1.8	6,114	6.1
27年3月期第3四半期	96,399	2.9	9,577	△12.4	9,663	△11.8	5,760	△9.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 6,036百万円 (4.5%) 27年3月期第3四半期 5,777百万円 (△10.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	202.26	—
27年3月期第3四半期	180.91	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	69,946	33,469	47.8	1,107.77
27年3月期	62,020	31,186	50.3	1,019.68

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 33,462百万円 27年3月期 31,186百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	58.00	78.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	58.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,401	7.9	11,686	3.0	11,669	1.1	7,103	12.2	235.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	30,213,676 株	27年3月期	37,800,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	73 株	27年3月期	7,215,124 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	30,228,378 株	27年3月期3Q	31,843,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 【第3四半期連結累計期間】	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(連結の範囲又は持分適用の範囲の変更)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から12月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策によって企業収益と雇用環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となったものの、海外経済の下振れリスクは残っており、不安定な状況が継続しております。個人消費も徐々に向上兆しが見られますが、円安などによる物価上昇により、消費マインドの持ち直しは足踏み状態となりました。

衣料品小売業界においては、8月下旬から気温が低下するなど天候に恵まれ秋物商品の動きが活発化したことに加え、都市部を中心とした訪日外国人客の増加が百貨店や専門店等の売上の後押しとなりました。しかしながら、11月以降の暖冬の影響による冬物衣料の停滞に加え、消費者物価の上昇を背景にしたお客様の節約志向や慎重な購買行動は続いており、衣料品の販売環境は厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社は平成28年3月期の単年度経営スローガンとして「目の前のお客様大満足」を掲げております。社是の「店はお客様のためにある」に立ち返り、「目の前のお客様大満足」を全ての判断軸として社員全員が自分のできるお客様大満足を考え、行動いたします。このスローガンの達成に向けて「商品・販売・宣伝部門連携サイクルの徹底強化」と「在庫増加の抑制」を重点取組課題に定め、さまざまな施策に取り組みました。

「商品・販売・宣伝部門連携サイクルの徹底強化」については、夏のセール商品の在庫投入を抑制し、晩夏商品や初秋物商品の販売を早めました。その結果、ビッグシルエットのカット、ガウチョパンツ、ロング丈のカーディガンをはじめとする、トレンド商品のヒットにつながりました。ユナイテッドアローズ事業やクロムハーツ事業を中心に訪日外国人による売上拡大も継続しており、免税対応店舗数の拡大や販売員の語学研修等により、対応力を強化いたしました。

「在庫増加の抑制」については、平成28年3月期末在庫の伸長率を売上高伸長率以下に抑えることを目標にしております。当第3四半期累計期間については、必要な在庫量を慎重に見極めた適切な調達計画の策定と実施により、効率的な運営を目指しました。過去在庫については、アウトレット店舗の新規出店やネット通販アウトレットモールへの期間限定出店、催事イベントの開催を通じて、販売を進めました。当第3四半期累計期間末のたな卸資産(商品+貯蔵品)の前年同期比は連結1.7%減、単体2.3%減となり、同期間の売上高伸長率(連結8.7%増、単体8.8%)を大きく下回りました。

出退店では、ユナイテッドアローズ事業:9店舗の出店、1店舗の退店、グリーンレーベルリラクシング事業:9店舗の出店、2店舗の退店、スモールビジネスユニット:1店舗の出店、2店舗の退店、アウトレット:2店舗の出店を実施し、当第3四半期末の小売店舗数は235店舗、アウトレットを含む総店舗数は258店舗となりました。

連結子会社の株式会社フィーゴは、卸売の期ずれ等により減収減益となりました。出退店では1店舗の出店を実施し、当第3四半期末の直営店舗数は18店舗となりました。

連結子会社の株式会社コーエン(決算月:1月)は、新規出店に伴う増収のほか、ネット通販が順調に推移し、増収増益となりました。出退店では4店舗の出店を実施し、当第3四半期末の店舗数は77店舗となりました。

連結子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司(決算月:1月)は、引き続き、SNSの活用による販売促進や台湾のお客様の嗜好に合わせた商材の展開等により、概ね計画に沿った業績進捗となりました。なお、当第3四半期末の店舗数は2店舗です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高については、新店出店に伴う増収、既存店の増収、ネット通販の伸長等により、前年同期比8.7%増の104,759百万円となりました。なお、株式会社ユナイテッドアローズにおける小売+通販既存店売上高前期比は104.5%となりました。売上総利益率は円安の影響やアウトレット店舗等を活用した過年度商品の値引き販売等に伴い、前年同期から1.6ポイント減の52.4%となりましたが、増収に伴い売上総利益額は前年同期比5.5%増の54,856百万円となりました。販売費及び一般管理費率は、宣伝販促費の減や増収に伴う固定費率の減等に伴い、前年同期から1.0ポイント低減の43.0%となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は9,804百万円(前年同期比2.4%増)、経常利益は9,837百万円(前年同期比1.8%増)となりました。また、法人税率の低減等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6.1%増の6,114百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して7,259百万円(17.5%)増加の48,697百万円となりました。これは、商品が4,306百万円、未収入金が4,011百万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が794百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して666百万円(3.2%)増加の21,248百万円となりました。これは、出店などにより建物及び構築物が474百万円、無形固定資産が132百万円、差入保証金が415百万円、それぞれ増加した一方、売却などにより投資有価証券が224百万円減少したことなどによります。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して6,918百万円(28.7%)増加の31,020百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3,759百万円、短期借入金が2,050百万円、未払法人税等が206百万円、流動負債その他が1,643百万円、それぞれ増加した一方、賞与引当金が728百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,276百万円(19.0%)減少の5,455百万円となりました。これは、資産除去債務が226百万円増加した一方、長期借入金が1,503百万円減少したことなどによります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,283百万円(7.3%)増加の33,469百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により6,114百万円増加した一方、配当金の支払により2,378百万円、自己株式の消却により12,119百万円、それぞれ減少したことや、自己株式が取得により1,385百万円増加した一方、消却により12,119百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成27年5月8日発表の業績予想の修正はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,801	5,006
受取手形及び売掛金	209	153
商品	22,984	27,290
貯蔵品	490	533
未収入金	9,725	13,736
その他	2,230	1,979
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	41,438	48,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,247	7,722
その他(純額)	1,809	1,791
有形固定資産合計	9,057	9,513
無形固定資産		
その他	1,685	1,817
無形固定資産合計	1,685	1,817
投資その他の資産		
差入保証金	7,807	8,222
その他	2,053	1,716
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	9,839	9,917
固定資産合計	20,582	21,248
資産合計	62,020	69,946
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,896	11,655
短期借入金	4,500	6,550
1年内返済予定の長期借入金	2,004	2,004
未払法人税等	1,263	1,470
賞与引当金	1,548	819
役員賞与引当金	11	-
その他	6,877	8,520
流動負債合計	24,101	31,020
固定負債		
長期借入金	3,996	2,493
資産除去債務	2,723	2,950
その他	12	12
固定負債合計	6,731	5,455
負債合計	30,833	36,476
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095
利益剰余金	34,716	26,332
自己株式	△10,734	△0
株主資本合計	31,107	33,457

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	△0
繰延ヘッジ損益	41	△5
為替換算調整勘定	6	9
その他の包括利益累計額合計	79	4
非支配株主持分	-	7
純資産合計	31,186	33,469
負債純資産合計	62,020	69,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	96,399	104,759
売上原価	44,395	49,903
売上総利益	52,003	54,856
販売費及び一般管理費	42,425	45,051
営業利益	9,577	9,804
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	4
為替差益	3	6
仕入割引	33	42
受取賃貸料	31	14
その他	107	65
営業外収益合計	185	133
営業外費用		
支払利息	25	33
賃貸費用	26	14
自己株式取得費用	-	33
その他	46	20
営業外費用合計	98	100
経常利益	9,663	9,837
特別利益		
固定資産売却益	19	-
投資有価証券売却益	-	64
特別利益合計	19	64
特別損失		
固定資産除却損	74	37
減損損失	307	307
投資有価証券評価損	-	15
その他	8	4
特別損失合計	390	365
税金等調整前四半期純利益	9,292	9,536
法人税、住民税及び事業税	2,704	3,066
法人税等調整額	827	357
法人税等合計	3,531	3,424
四半期純利益	5,760	6,111
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,760	6,114

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	5,760	6,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△31
繰延ヘッジ損益	5	△47
為替換算調整勘定	1	3
その他の包括利益合計	17	△74
四半期包括利益	5,777	6,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,777	6,039
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,292	9,536
減価償却費	1,333	1,316
無形固定資産償却費	127	135
長期前払費用償却額	100	103
減損損失	307	307
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,279	△728
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△103	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
受取利息及び受取配当金	△8	△4
支払利息	25	33
売上債権の増減額(△は増加)	△2,457	△3,834
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,934	△4,350
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△46	△209
仕入債務の増減額(△は減少)	4,036	4,851
その他の流動負債の増減額(△は減少)	683	362
その他の固定負債の増減額(△は減少)	0	△0
その他	△37	△39
小計	4,034	7,467
利息及び配当金の受取額	8	4
利息の支払額	△25	△33
法人税等の支払額	△5,797	△2,901
役員退職慰労金の支払額	△309	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,089	4,536
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	-	226
有形固定資産の取得による支出	△2,177	△1,598
資産除去債務の履行による支出	△15	△102
有形固定資産の売却による収入	21	0
無形固定資産の取得による支出	△122	△193
長期前払費用の取得による支出	△408	△72
差入保証金の差入による支出	△356	△525
差入保証金の回収による収入	82	110
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,982	△2,164
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,150	2,050
長期借入金の返済による支出	△681	△1,503
自己株式の取得による支出	-	△1,418
配当金の支払額	△2,061	△2,317
非支配株主からの払込みによる収入	-	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,407	△3,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	336	△804
現金及び現金同等物の期首残高	5,429	5,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,766	4,781

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

株式会社デザインズは当第3四半期連結会計期間より事業を開始し、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、平成27年2月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式371,200株を取得し、この結果、自己株式が1,385百万円増加しております。

また、平成27年11月6日開催の取締役会決議に基づき、平成27年11月20日付けで自己株式7,586,324株を消却し、この結果、利益剰余金および自己株式が12,119百万円それぞれ減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が26,332百万円、自己株式が0百万円となっております。